

KITAKEI-Report

No.156
August2022

発行：北恵株式会社 〒541-0054 大阪市中央区南本町3-6-14 TEL.06-6251-6701
<http://www.kitakei.jp/>

長尺合板工場火災の影響「確実に」

6月19日、鳥取県境港市の合板製造会社(株)日新の本社工場で火災が発生、全焼しました。同社は長尺を含む針葉樹合板の製造・販売で全国シェア約30%を誇る企業で、今後同社と取引のあるメーカーの加工商品等に影響が及ぶ可能性も指摘されています。特に火災直後は「長尺合板の生産に影響が出始め、代替商品の選定を行う動きが出ている」という声が聞かれました。実際に同火災によって一部製品の受注を停止した企業も見られました。

さて、昨年来より合板の不足が続いていますが、実は現時点でサイズや種類によっては十分確保することが可能な商品もあります。例えば普通合板については在庫が多く、むしろ荷動きが停滞しているとの情報が伝わってきています。さらに輸入された普通合板についても、主要港湾の港頭在庫は満杯状態が続いている状況です。

一方で住宅などで使用する構造用合板や“コンパネ”と呼ばれる型枠合板などは不足しており、これらの合板に対する引き合いは今後も続くものと思われます。例えば、マレーシア産中心の塗装型枠用合板とラワン構造用合板は不足感が続いています。こうした中、中国から針葉樹構造用



合板が大量に日本国内に向け輸出されています。これらは主にJAS認定を取得した中国の工場が生産したのですが、単板はロシア産の材が使用されているとの見方が広がっています。なお、同部材を実際に見た人たちからは「品質面で問題がある」との指摘が多く寄せられています。

昨年来より値上げが続く合板ですが、現在の円安状況が追い打ちとなり、コストが下がる要因はまだ見つけられそうにありません。事態の打開には、今しばらく時間を要することが大方の予測となっています。

リフォーム受注高 3.7%増 いつも触れる床材から衛生空間を

新型コロナの感染拡大を防ぐため、経済産業省は人と人との接触を防ぐための取り組みを各企業に呼びかけてきました。これにより自宅で行える仕事は自宅で行う在宅勤務が普及し始め、国民の通勤時間は減少へ。一方で、家族と過ごす時間は増加したとされています。

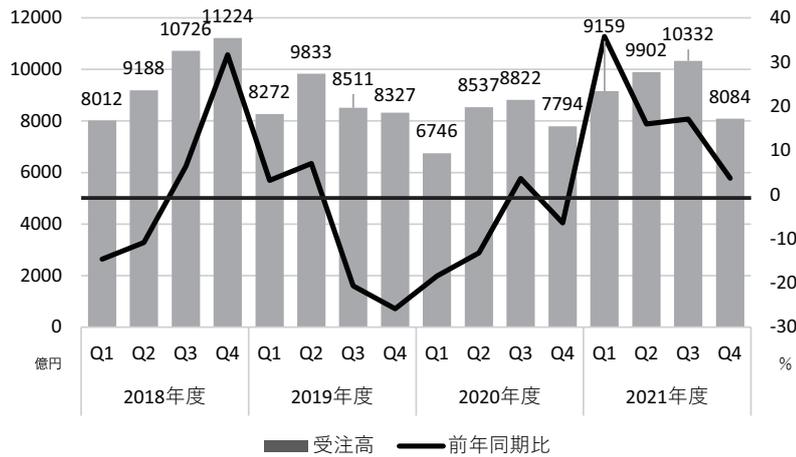
こうした中、住まい手には、住まい空間のあり方や暮らし方を見直す機会が生まれています。在宅勤務を実施する平日だけではなく、休日でも家で過ごす時間が増えたことで、ホームシアターをつくるなどエンターテインメントを意識した空間ニーズも求められてきました。

このようなリフォーム需要は、国土交通省が公表する「建築物リフォーム・リニューアル調査」をみても分かるように、受注額はコロナ禍から堅調な伸びをみせています(右図1参照)。また、最新のデータとなる2021年度第4四半期(1～3月)の受注高は2兆7549億円。前年同期比においては3.7%増となりました。

さて、このようにリフォーム需要そのものが伸びている中でも、個々の住まい手が考える理想の暮らし像は多岐にわたっていると予測されます。基本的に工務店はお施主様から頂いた要望をもとに空間提案を行います。今回は床材に焦点を当ててみましょう。というのも、床一つで室内のイメージはがらりと変わるからです。住まい手の考えを尊重しつつ、理想の室内環境を実現するため、ときには工務店からの提案も重要となります。

フローリングは住まい手が最も長い時間触れる建材といっても過言ではありません。足で触れるだけではなく、乳児の場合は床に手をついて移動します。その他、洗濯物を床で畳んだり、床に直接座ることも考えられます。

そんなフローリングには想像以上に多くの汚れが付着します。住まい手が素足で歩いた際の皮脂、咳やくしゃみによる飛沫はやがてフローリングへと落ちていきます。その汚れは手足を媒介と



【図1】出所：国土交通省「建築物リフォーム・リニューアル調査」※住宅を対象として編集部が作成

して家中に広がってしまうのです。

汚れがフローリング全体に広がるケース以外にも、住まい手が床に手をつくことで、ドアノブや手すりなど、家中のいたるところに汚れが拡散することも考えられます。

そこで重要となるのが床へ抗ウイルス機能を付与する考え方。そのような製品の中でも、抗菌製品技術協議会(SIAA)の表示がついている製品は、第三者機関による認証を得ており、安心につながります。

ただし、ワックスがけをすると抗ウイルス機能が消えてしまったり、抗ウイルス層がこすれて同機能も一緒に消えてしまったりするケースもあり、そのフローリングに合ったメンテナンス方法が求められるという点は注意が必要です。工務店には新たなフローリングに改修したあと、その床材に合わせたメンテナンスをしっかりと周知する必要がありますといえるでしょう。

連載：木造住宅の歩み (第20回)

木造戸建て住宅の壁が土壁だった時代、当然壁に断熱材はありませんでした。こうした時代にあって、「吉田兼好」という鎌倉時代後期の歌人は「徒然草」という随筆文学の中に「家のつくりようは夏をもって旨とすべし」と記しています。これは「家をつくる際は、夏の住みやすさを優先して建築するのがよい」という意味。このフレーズは徒然草の中でも有名な箇所の一つであるため、案外「古文の授業で習った」という人も多いのではないのでしょうか。

このように日本三大随筆の一つに数えられる「徒然草」にこう書かれているのだから、「そん

なものなのかな? でも冬は寒いよなあ」と思われる方は多くおられることでしょう。実はこの吉田兼好という人、別に住宅については研究者でも断熱の権威でもなんでもありません。ただの歌人・随筆家が日々の暮らしで感じた全くの私情を書いただけなので、根拠は何もなかったのです。

でも、工務店さんも一時期「家のつくりようは夏をもって旨とすべし」を崇拜していた時期があったような気がします。日本人はなぜか昔の書物に書かれた事を素直に信じてしまうところがありますよね。

それはともかく、日本の断熱史は1974年のオ

イルショックに端を発します。オイルショックにより原油価格高騰、経済混乱が起これ、エネルギー節約を余儀なくされた日本は1979年に「エネルギーの使用合理化に関する法律（以下省エネ法）」を制定しました。また、他の産業に比べて省エネで遅れを取っていた住宅産業の断熱レベルを上げ

る為、翌年の1980年に初の住宅における断熱基準である「住宅に係る省エネルギー基準＝旧省エネ基準」が決められたのです。

以降表1のように住宅の断熱基準が更新されていきます。

表1

省エネ法	住宅の省エネ基準	
1979年制定	1980（昭和55）年	旧省エネ基準：等級2（住宅の省エネ基準の制定）
1993年改正	1992（平成4）年	新省エネ基準：等級3（住宅の省エネ基準の改正） ・断熱性能の強化 ・地域での気密住宅の適用
1997年改正	1999（平成11）年	次世代省エネ基準：等級4（住宅の省エネ基準の全面改正） ・躯体断熱の強化 ・全地域を対象に気密住宅を前提 ・計画換気、暖房設備等に関する規定の追加
	2001（平成13）年	一部改正
2006年改正	2006（平成18）年	一部改正
2008年改正	2009（平成21）年	一部改正

しかし、あくまで任意基準でしたので、断熱材を施工するかどうかは工務店さん任せでした。そんな中、住宅の断熱化に大きな推進力となったのは「(独)住宅金融公庫（現：(独)住宅金融支援機構）」の政策でした。「住宅金融公庫」とは、国民一般に住宅建設資金を長期・低利で貸し付けることを目的とする機関であり、「住宅金融公庫」が定めた融資条件として、断熱基準を満たすことが入っていました。当時の感覚としては融資を受ける為に“仕方なしに”断熱基準を守るという感じでした。それがいつの間にか、「住宅金融公庫」の断熱仕様が住宅の標準指標として、認知されるようになっていきました。「住宅金融公庫」の政策がなければ、住宅断熱はもっと遅れていたかもしれません。

表1にあるように、断熱基準の呼び名は制定時のものを「旧省エネ基準」、その12年後に改正された基準を「新省エネ基準」、さらに7年後の全面改正時には「次世代省エネ基準」と呼ばれました。特に「次世代省エネ基準」が制定された際は日本の断熱基準もようやく欧州諸国に肩を並べるレベルになった！と研究者らは胸を張ったそう

です。今となっては「次世代省エネ基準」でも全然物足りないと感じますが、当時は私も「ここまで断熱は要らないだろう」と、不覚にも思っていました。ただ、表1からもわかるように、現在の基準も「次世代省エネ基準」を改正しただけなので、2025年の断熱義務化レベルは概ね「次世代省エネ基準」レベルと違って間違いありません。今から10年程前に「次世代省エネ基準」と言ってしまったものだから、次はなんと呼ぶのかと思っていました。残念な事に通称名は無くなってしまいました。「次世代」の次は思いつかなかったのでしょうか（笑）。そのかわり制度や法、団体の違いにより断熱レベルの呼び方が多岐にわたり、判別困難な状況になっています。

一例を挙げるだけでも「一次エネルギー消費量等級4～6」、「断熱性能等級4～7」、「トップランナー基準」、「平成28年基準」、「HEAT20 G1～3」、「ZEH・ZEH+」等…。

今回はこれら断熱性能の呼称と性能の問題について考えてみます。

【つづく】 北恵レポート担当 O

キタケイの提供する2つのプライベートブランド
 環境・ぬくもり・素材をテーマとした各種住宅資材 “ スプロートユニバーサル ”
 天然木にこだわったフローリングや壁材 “ リラクシングウッド ”
 企画・製造から販売までトータルにプロデュース、心からご満足いただける住まいづくりを
 バックアップします。



www.sprout-univ.com

<p>環境 SPROUT UNIVERSAL BLUE ここちよい住環境</p>	<p>ぬくもり SPROUT UNIVERSAL ORANGE 住まう人のために</p>	<p>素材 SPROUT UNIVERSAL GREEN 永く使ってほしいから</p>



www.relaxssingwood.com

リラクシングウッド
 抗菌・ウイルス加工 フローリング ウイルスガードコート シリーズ

